福生市教育委員会会議録
平成21年第8回定例会

1	開催年月日	平成21年8月21日(金)
2	開始時刻	午前10時00分
3	終了時刻	午前11時42分
4	場 所	第2棟4階 第2委員会室
5	出席委員	委 員 長 長谷川 貞 夫
委員長職務代理者 平野 裕 子
委 員 加藤 美 子
委 員 渡辺 浩 行
教 育 長 宮 城 眞 一
6	欠席委員	なし
7	出席者氏名	教 育 次 長 宮 田 満
参 事 川 越 孝 洋
庶 務 課 長 天 野 幸 次
社 会 教 育 課 長 高 木 裕
スポーツ振興課長 鳥 越 裕 之
国体準備室長
公 民 館 長 伊 東 静 一
図 書 館 長 森 田 秀 敏
主 幹 栗 林 昭 彦
8	傍 聴 人	なし

(裏面に続く)

9 議事日程

- 日程第 1 会議録署名委員の指名
- 日程第 2 教育長報告
- 日程第 3 議案第 64 号 福生市立図書館運営規則の一部を改正する規則について
- 日程第 4 議案第 65 号 福生市第 68 回国民体育大会開催準備補助金交付要綱の制定について
- 日程第 5 議案第 66 号 平成 21 年度福生市一般会計補正予算（第 2 号）の原案中教育に関する部分についての意見聴取について
- 日程第 6 議案第 67 号 「福生第一国民学校防空日誌」の市登録有形文化財登録に伴う諮問について
- 日程第 7 報告第 13 号 福生第四小学校西側階段室アスベスト除去工事の完了について
- 日程第 8 報告第 14 号 平成 21 年度算数検定「児童数検」及び漢字検定の実施計画について
- 日程第 9 その他報告事項

委員 長 それではただ今から平成 21 年第 8 回福生市教育委員会定例会を開会いたします。

これより本日の会議を開きます。

これより日程に入ります。

日程第 1、会議録署名委員の指名を行います。福生市教育委員会会議規則第 19 条の規定に基づき、平野裕子委員、渡辺浩行委員の両名を署名委員として指名いたします。

日程第 2、教育長報告、教育長から報告願います。

教育 長 それでは報告をさせていただきます。まだ日中暑い日もありますが、朝晩は少し冷気も感じる、そんな季節の移り変わりを感じるところでございます。本日の定例委員会に御参集いただきまして、ありがとうございます。

早速でございますが、新型インフルエンザについてまず御報告を申し上げておきたいと思えます。市内におけます状況につきましては、既に F A X をもちまして逐次お知らせをしておりますが、まとめた報告として申し上げます。

一つは第二小学校におけますケースでございますが、8 月 7 日以降、日を追って一人あるいは二人と症状が出てまいりまして、その結果 8 月の 10 日時点で、教職員 4 人が簡易検査による A 型陽性との医師の診断がされております。そのうち一人につきましては保健所による遺伝子検査の結果、豚由来のいわゆる新型インフルエンザだと確定されております。今回の事態に当たりましては、指導室におきまして逐次保健所との連絡をとっておりまして、3 名の簡易検査診断の段階で、当面の措置として、指導室から最小の配置による職員の勤務体制を学校側に指示をいたしまして、教職員間におけますさらなる感染拡大の予防措置を講じたところでございました。

なお、夏季休業中でありましたので、児童への特段の対応措置はございませんでしたが、保護者へは緊急連絡をいたしたところでございます。又、同校内に設置をいたしております「ふっさっ子の広場」につきましては、遺伝子検査結果が 8 月 12 日に出ましたので、それまでの間は 8 月 14 日までの臨時的な閉室としておりましたが、これら

を踏まえて更に延長いたしましたところでございます。いずれにしても、この保健所におけます遺伝子検査の結果が判明した時点で、それらの決定をいたしました。なお、学校体育館などのいわゆる市民開放の施設につきましても、同様に臨時の使用中止といった措置を8月17日までとったところでございます。

このほかのケースとして教育委員会に、事務局に寄せられた情報としては二つございました。一つは海外派遣生のうちの一人が、帰国後1週間程度してからA型陽性の診断を受けたとの保護者からの情報でございます。帰国後かなりの時間を経しておりますので、派遣中の感染と受け止めてはおりませんが、保護者からそのような御連絡もいただいております。あるいはこの事業自体がかなり、心配をされている方もある中での事業でございましたので、念のためこれらについてのお知らせもしているところでございます。

更にはもう1件、第一中学校生でA型陽性の診断を受けて自宅療養で治癒したとの情報もつかんでおりました。加えて昨日の時点で、もう一人の第一中学校生、第二小学校生が、軽症でありますA型陽性の診断を受けているとの情報がございます。

現在、国におきましては、情報収集などの対応方針につきましては、クラスターサーベイランス、即ち集団感染防止の観点からの監視といった形に変わっておりまして、個々の事例を詳細に把握する仕方はいたしておりません。そのために発熱と症状があれば一般外来により受診をし、医師の診断を受けることになっておりまして、その上で医師が、集団感染が疑われる場合には保健所等検査機関に報告をする手続きになってございます。

このような方法を国でとっておりますのは、いわゆる弱毒性の感染症でございまして、一方で人々に免疫性がない、もしくは少ないといったことで、感染力は強いわけでございます。このような状況にございますので、国の対応としてはそのような対応をされてはおりましたが、ここ数日の報道によりますと、流行状態だと言われてきております。又、呼吸器疾患等の、いわゆる基礎疾患を有する方の場合には重症化すると言われ、最近になりまして国内で3人の方の死亡の報道もされております。私どもはこれらのケース等を踏まえてまいりますと、

気を緩めずに冷静にかつ慎重に、そして迅速・確実に、事態に対する対処をしていかなければならないと考えております。

そして2学期以降の対応でございますが、お手元に教育長報告資料として、都教育委員会からまいりました通知の写しをお届けしております。参考までに御覧いただければと存じますが、8月18日付の「2学期以降の新型インフルエンザ感染予防策の徹底について(第87報)」、都の教育庁のインフルエンザ対策本部からきている文書でございます。この文書で御覧いただきますと、即ち新学期早々の対応として、学校現場においてはしっかりとした対応をするようにといったことが読み取れるところでございます。

学校におきましては間もなく2学期が始まるところでございまして、私どもとしては、幾つか気をつけなければいけないことについて、考えておりますことは、一つは新学期早々の対応と、それから2学期3学期の集団で行なわれる事業等の対応、そして3月、年度末までの間におけます教育課程への対応といったことを検討しておかなければならないことだろうと思っております。

新学期早々の対応につきましてはただ今申し上げましたように、都教育委員会の通知文を参考にしながら対応してまいりますが、この中で言われております概略ですが、一つは先程申し上げましたが、クラスターサーベイランス、つまり集団による感染の防止に向けた観察が一つあることでございます。今回特にこの中で言われておりますのが「インフルエンザ様症状」と言われております。風邪症状といった様子が見られる場合でございますが、こういった症状のある児童・生徒、あるいは教職員も含めてでございますが、このような児童・生徒に対しましては無理な登校等を控えるようにとのことがまず1点ございます。その上で日常的に学校におけます健康衛生指導を徹底されるように、例えば手洗い、うがい、咳のチェックの励行、自宅における体調管理、あるいは偏食しない食事、規則正しい睡眠などの生活週間の維持についての指導が言われてございます。

二つ目として、2学期あるいは3学期の集団的な事業対応でございますが、考えられますことは校内で行なわれます行事で、インフルエンザ様症状の見られる児童・生徒の出席とか参加については、先程の

例で言いますと、登校を見合わせるようにとの指導もされるところでございますので、そういった意味で児童・生徒の出席や参加の見合わせは考えられるかと思えます。あるいは場合によりましては事業の中止といったことも検討されなければならないかと思われます。

これら想定される事例としては、運動会とか体育祭、あるいは学芸的な行事、合唱祭、あるいは宿泊を伴う事業としては修学旅行でありますとか、スキー教室といったことがあろうかと思えます。とりわけ中学3年生の修学旅行については、別途いろいろな対応が出てくるかと思えますが、可能な限り私どもとしては、全3校の3年生が無事修学旅行に参加できる方向での対応をぜひ考えたいと思うところであります。

それから、3点目の年度末までの教育課程への対応でございますが、この間に想定されますことは、一つにはいわゆる閉鎖でございます。学級閉鎖、学年閉鎖、あるいは学校閉鎖が考えられるわけでありまして。それに伴いまして学習の機会、あるいは授業時数の確保の対応が課題として上がってまいるわけでございます。特に閉鎖が行なわれましたときに、高校受験を前にした子どもたちに対する教科の進捗の問題が大きな問題になってこようかと思えます。

それぞれ具体的対応につきましては、目下対応策を検討いたしているところでございますが、まだ今日の時点で対応をお示しできておりませんが、これにつきましては、一つには保健所、一つには都の教育委員会、教育庁との協議等々も出てまいるかと思えます。併せまして学校現場等の意向なども十分聴取をしてみなければならないかと思っておりますので、それらを踏まえて早急にこれらの対応を考えてまいりたいと思っております。

時間的にも猶予がございませんこと、あるいは関係機関等々の協議等もございまして、対応策のまとめにつきましては大変恐縮でございますが、私ども事務局に御一任をいただきまして、後日それらの対応策がまとまり次第委員の皆様方にはお送りをする形で当面对応させていただきますので御理解をいただければと存じます。

なお、これらのほかにも、例えば学校給食の取扱の問題も出てまいりますし、不特定多数の人が集まっております社会教育施設につきま

しても、時々刻々に応じたその対処があるかと想定がされるところでございます。これらいろいろな対応がございますので、改めてこれまで私どもがとっておりました対応策についての見直しをいたしますとともに、新たな事態に対する対応についても検討を進めながら具体的に対応、あるいは遅れのない対応をいたしてまいりたいと思っております。

併せてこれらの対応につきましては学校の現場のみならず、児童・生徒、教職員、保護者や市民の方の御理解も得ることが重要でありまして、そういった意味で市民周知、保護者周知についても徹底をしなければいけないところでございます。これらも配慮しながら対応方針を検討してまいりたいと思っております。インフルエンザ関係については、このようなことを私から御報告申し上げまして、又御質問等ございましたらお答えをさせていただきたいと存じます。

続きまして学校教育関係でございますが、2学期の始業が中学校と小学校と異なっております。中学校は8月27日、小学校が9月1日からになります。授業の開始とともに、インフルエンザに関する情報の収集等は、従来と同様に迅速・確実にいたしてまいりたいと考えております。

続きまして社会教育関係でございますが、1点は国体準備委員会の発足のことでございます。7月28日の第2回発起人会で、準備会に向けての準備を終えさせていただきました。8月23日に準備委員会を発足させ、そのあと引き続き第1回の総会を持ってまいりたいと思っております。

次に社会教育関係の二つの事業でございますが、海外派遣事業、スポーツ体験事業、これにつきましては後程、担当からも御説明申し上げますが、まずは無事終了してございます。

続きまして市の動向で申し上げますが、一つは国の補正予算に伴う対応でございます。緊急雇用対策で、国では補正予算の可決が既にされたわけで、平成21年度の予算に対します補正予算の可決をいたしたところでございます。これらに基づきます各自治体への申請についての通知が来ておきまして、かなり急がれる対応で、今回、9月の定例市議会に提案いたしますことから、市長からの意見聴取がさ

れてまいっております。後程御審議をいただきますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

続きまして会議の関係で、市議会でございますが、第3回の定例市議会が9月1日から29日まで予定されております。一般質問、補正予算、平成20年度の決算認定等が予定されるところでございます。

それからもう1点、教育長会が8月5日に開催されておりますが、特に御報告申し上げる事案はございませんでした。

最後でございますが、今年は部活、クラブチームで活躍をされておりました生徒が、関東大会あるいは全国大会出場の報告で私のところに訪問してくれております。一つは、水泳で関東大会に出場することによって、第一中学校生の井上拓哉君。第二中学校生では佐々木恭平君・耕平君兄弟で、走り高跳びと砲丸投げに出場することによってでございます。第三中学校生では、岩田あおいさんが全国大会の水泳競技、200メートル個人メドレーに出場することによって、私のところに報告に来てくれました。

それぞれの生徒たちからの話を聞いておりますと、浮かれるところなく、実にしっかりした考えを持ってこれまで練習に励み、今回の出場の機会を得たようでございます。子どもたちのたくましさと言いましようか、頼もしい一面を知らせていただいたところでございます。改めて福生の子供たちへの期待を強くしたところでございます。今後とも声を大にしてこれらのことを伝えていきたいと感じた次第でございます。以上、報告とさせていただきます。

委員長 教育長からの報告は終わりました。

質問がありましたらお願いいたします。

よろしいでしょうか、それでは、教育長報告を終わります。

次に日程第3、議案第64号、福生市立図書館運営規則の一部を改正する規則についてを議題といたします。図書館長より内容説明をお願いいたします。

図書館長 それでは議案第64号、福生市立図書館運営規則の一部を改正する規則につきまして、提案並びに改正の理由を御説明申し上げます。

本年5月15日、教育委員会定例会におきまして、その他報告事項で御説明いたしました昭島市との図書館相互利用の推進についてに関

連しまして、現在、11月1日実施に向けまして、昭島市及び関係機関とさまざまな調整を行なっているところでございます。今回定例会にお諮りいたします案件は、福生市立図書館運営規則の一部改正についてでございます。議案書3ページをお開きください。福生市と昭島市相互の市民読書環境の拡充及び利便性の向上を図るために、昭島市との図書館相互利用を本年11月1日からの開始に伴いまして、規定の整備をしたいため、本規則を改正する必要がございます。

それでは福生市立図書館運営規則の一部を改正する規則の、改正内容の説明をいたします。議案第64号附属資料の新旧対照表も併せて御覧ください。

福生市立図書館運営規則の一部を次のとおり改正いたします。第3条第3号中、図書館の奉仕を受けることができる規定について、現行の「奥多摩町内」を「奥多摩町並びに昭島市」に文言修正及び加筆を行い、一部改正し、昭島市の住民も福生市の図書館が利用できるよう改正するものでございます。

又、別記様式第2号から第4号までを次のとおり改めます。附則（施行期日）1、この規則は、平成21年11月1日から施行する。（経過措置）2、この規則による改正前の福生市立図書館運営規則により現にある様式は、当分の間所要の修正を加えて使用することができる。

なお、改正による効果についてですが、福生市・昭島市相互の市民の利用できる図書館・蔵書等の拡充、図書館相互の活性化等の向上が図られるといった点が挙げられます。

次に、今後の主なスケジュールについて御説明いたします。9月議会、総務文教委員会及び全員協議会に報告し、10月下旬協定書調印式を行い、11月1日から相互利用開始を予定しております。その間も昭島市とは連絡調整を密に行い、相互に遺漏のないよう心がけていく所存です。以上、簡単ではございますが内容の説明とさせていただきます。

委員長 内容説明は終わりました。質疑がありましたらお願いいたします。
ないようでしたら、質疑を終わります。

お諮りします。議案第64号は原案のとおり決することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

委員長 異議なしと認めます。よって議案第 64 号は原案のとおり可決することといたします。

次に、日程第 4、議案第 65 号、福生市第 68 回国民体育大会開催準備補助金交付要綱の制定についてを議題といたします。国体準備室長より内容説明をお願いいたします。

国体準備室長 それでは議案第 65 号、福生市第 68 回国民体育大会開催準備補助金交付要綱の制定について、提案理由並びにその内容について御説明申し上げます。

提案理由は第 68 回国民体育大会開催準に当たり、第 68 回国民体育大会福生市準備委員会に対し補助金を交付することに伴い、本要綱を制定する必要があるためでございます。

それでは要綱の内容について御説明申し上げます。まず第 1 条ですが、この要綱の趣旨規定でございます。第 2 条は、補助金の対象事業を定めるもので、交付対象となる事業は「第 68 回国民体育大会の準備に係るもの」としその経理は準備委員会事務局が行ないます。第 3 条は補助金の額を定めるもので、「補助金の額は、予算の範囲内」、今年度においては 10 万 4,000 円でございます。

第 4 条から第 13 条までにつきましては、補助金の申請手続、補助金の額の決定、その他それに付随する事項について定めようとするものでございます。この規定については補助金交付要綱の規定において定型的なものとなっております。第 14 条につきましては、補助金の支払いについて定めるもので、補助金についてはその性質上概算払いの方法により支払うものとし、会計年度が終了したときには清算を行ないます。第 15 条は是正のための措置、第 16 条は、不正により補助金の交付を受けた際の補助金の取消。第 17 条は補助金を取り消した際の補助金の返還を定めようとするものでございます。

第 18 条は財産処分の制限として、交付事業により取得した、又効用が増加した財産を、補助金の交付の目的に反し使用する場合、譲渡、交換、貸付等をしようとするときは、あらかじめ市長の承認を得なければならない旨を定めたものでございます。第 19 条は帳簿等の整理保管について。第 20 条はその他必要な事項について定めるものでご

ざいます。

最後にこの附則としまして、この要綱は国体準備委員会が設立される平成 21 年 8 月 23 日から施行いたそうとするものでございます。この要綱につきましては、東京都などを参考に制定させていただいています。よろしくお願い申し上げます。

委員長 内容説明は終わりました。質疑がありましたらお願いいたします。

平野委員 この要綱は国体開催の実行委員会ができるまでですか。

国体準備室長 現規程は準備委員会を対象としております。実行委員会に来年移る予定がありますが、そのときにこの要綱は対象を変更する予定でございます。

平野委員 わかりました。ではそのときにこの効力がなくなるか、新たなものに移ることを書き加えられていくわけですか。

国体準備室長 はい、御指摘のとおりでございます。

委員長 「市長は」と市長の権限について言っていますが、それは普通のことですか。

国体準備室長 はい、そのとおりです。

委員長 わかりました。ほかに質疑はございませんか。

ないようでしたら、質疑を終ります。

お諮りいたします。議案第 65 号は原案のとおり決することに御異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

委員長 御異議なしと認め、議案第 65 号は原案のとおり可決することといたします。

次に、日程第 5、議案第 66 号、平成 21 年度福生市一般会計補正予算(第 2 号)の原案中教育に関する部分についての意見聴取についてを議題といたします。庶務課長より内容説明をお願いいたします。

庶務課長 それでは、議案第 66 号、平成 21 年度福生市一般会計補正予算(第 2 号)の原案中教育に関する部分の意見聴取について、その提案理由並びに内容について御説明を申し上げます。

まず提案理由でございますが、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 29 条の規定に基づきまして、市長から教育委員会に対して意見を求められましたので本議案を提出するものでございます。

補正予算の内容につきまして御説明申し上げます。

まず一番下の欄に歳入の合計額が記載されてございます。一般会計全体での歳入予算額でございますが、今回の補正で6億40万9,000円を追加いたしまして、歳入予算の総額を209億7,049万7,000円といたそうとするものでございます。

このうち教育に関する部分でございますが、第14款国庫支出金、第2項国庫補助金、第4目教育費国庫補助金は、補正額が504万9,000円でございます。内容は右側の説明欄にございます。理科教育設備整備費等補助金でございます。これは本年4月から新しい学習指導要領の一部が先行実施されておりますが、そのうち小・中学校の理科について、新しい学習指導要領に準じた理科備品等を整備するための補助金でございます。所要経費の2分の1を国が補助するものでございます。

次に第17款寄附金、第2項寄附金、第2目まちづくり寄附金でございますが、補正額14万3,000円のうち、育英資金運営費寄附金8万円が教育に関する部分となっております。これは市内の篤行者の方からの寄附でございます。歳出項目にございます育英資金運営費のうち、育英補助金に充当させていただくものでございます。

続きまして、歳出について御説明申し上げます。歳出のうち教育に関する部分でございますが、第10款の教育費。ここに小学校費、中学校費、社会教育費、保健体育費、これを併せまして4,808万7,000円の補正額でございます。歳出の総額を27億5,075万1,000円といたそうとするものでございます。

その内容について御説明を申し上げます。こちらにつきましては教育総務費、教育委員会費のうち、補正額にございます財源の内訳の変更でございます。一般財源8万円から特定財源8万円に移行する内容のものでございます。

続きまして、第2項小学校費、第2目教育振興費は、1,077万7,000円の追加でございます。その内訳は右側説明欄の1、教育振興費、備品購入費で、先程歳入のところで御説明いたしました理科教育設備備品の備品費として700万6,000円。そして音楽のまちづくり事業における楽器購入の追加購入分として377万1,000円を追加するもので

ございます。

続きまして、第3項中学校費、第2目教育振興費は800万8,000円の追加でございまして、その内訳は説明欄の1、教育振興費、備品購入費につきまして、小学校費で御説明いたしました同様の項目でございしますが、理科教育設備備品に309万2,000円、音楽のまちづくり備品として422万9,000円の追加でございます。そして修学旅行等負担補助金は、新型インフルエンザ流行によりまして修学旅行を延期したことによる、第二中学校の宿泊代金のキャンセル料を補てんするための68万7,000円の追加でございます。

以上の小学校費、中学校費の補正予算の財源でございしますが、理科教育設備費につきましては、歳入の項で御説明いたしました国の理科教育設備整備費等補助金、並びに国の補正予算に盛り込まれました地域活性化・経済危機対策臨時交付金の二つを財源とするものでございます。又、音楽のまちづくり備品、修学旅行等負担補助金につきましては、すべて地域活性化・経済危機対策臨時交付金を財源としてございます。

続きまして、第5項社会教育費、第5目社会教育費は、説明欄の8、ふっさっ子の広場事業費15節、空調設備改良工事費として320万円の追加でございます。これは「ふっさっ子の広場」で使用しております部屋の単体空調設備を設置する工事費でございまして、国の地域活性化・経済危機対策臨時交付金を財源としております。

第2目の文化財保護費は、説明欄4の保護及び展示費、第13節の市史資料マイクロフィルムデジタルデータ化委託料99万8,000円の追加でございまして、福生市史編纂時の資料のマイクロフィルムをデジタルデータ化するものでございます。

そして第5目図書館費は説明欄3でございます。図書館運営費で、図書の分類ラベルの張りかえ等、各種資料を整備するものでございしますが、180万4,000円の追加でございます。財源につきましては先程の文化財保護費、図書館運営費ともに都の緊急雇用創出事業基金を財源として行なうものでございます。なお詳細な事業の内容につきましては、後程担当課から御説明をいたします。

続きまして、第6目でございます。地域会館管理費は補正額1,500

万 4,000 円でございます。地域活性化・経済危機対策臨時交付金を財源として、説明欄 1 にございますように、第 18 節の備品購入費を追加いたしまして、各地域会館の会議用の机・椅子の買い換え等を行なうものでございます。

次に、第 6 項保健体育費、第 4 目体育館費は 829 万 6,000 円の追加で、説明欄 3 にございます施設改良及び管理費において、第 15 節中央体育館防犯カメラ設置工事に 570 万 8,000 円。第 18 節備品購入費として、中央体育館の会議用机・椅子等を購入するための費用 258 万 8,000 円を追加するものでございます。

続きまして、附属資料 3 を御覧いただきたいと思っております。債務負担行為補正の表がございしますが、一番下の段に福生野球場整備事業がございします。これは福生野球場の整備を行なうためのものでございしますが、債務負担行為限度額 3 億 9,026 万円を債務負担行為として設定するものでございします。この件の詳細につきましては、後程担当課から御説明を申し上げます。

そして、補正予算に関する補足の資料といたしまして、附属資料 1 を御覧いただきたいと思っております。これは今回国の平成 21 年度第 1 次補正予算に伴う対応事業についてまとめたものでございします。福生市全庁的に行なうもののまとめでございします。一番左側から国の補助事業のメニューがございしますが、それごとに市の実施いたします事業と事業費、そして実施期間をまとめた一覧表でございしますので御参考にさせていただければと思っております。

附属資料 2 でございしますが、こちらは実施計画、平成 21 年度から 23 年度の実施計画の提案事業採否通知でございします。これは教育に関する部分を抜粋したものでございしますが、このたびの補正予算を編成するに当たりまして、主に地域活性化・経済危機対策臨時交付金、そして緊急雇用創出事業基金の充当をして行なう事業について、各課から提案事業の一覧を提出したものでございします。教育委員会では合計 23 件の提案を行ないまして、このうち 11 件が採択をされております。そのうち 10 件が今回の補正予算の計上となっております。こちらにも御参考に願いたいと存じます。

以上で平成 21 年度福生市一般会計補正予算（第 2 号）の原案中教育

に関する部分についての意見聴取についての御説明とさせていただきます。引き続き各担当課から補足の説明をさせていただきますけれども、説明の後、本議案の御審議を賜りまして、原案のとおり御決定くださいますようお願い申し上げます。以上でございます。

社会教育課長 それでは、一般会計補正予算（第2号）中、社会教育課所管分について御説明いたします。

第10款教育費、第5項社会教育費、第1目の社会教育総務費の説明欄8、ふっさっ子の広場事業費のうち、15節空調設備改良工事費でございますが、これは現在第七小学校以外の「ふっさっ子の広場」の部屋には単独の空調設備が設置されておりますが、第七小学校の広場には単独の空調設備がなく、校舎全体の空調をかけなければ部屋の冷暖房ができない状況でございます。このため夏・冬の時期は光熱水費の節減、環境への配慮から校舎全体の空調はかけず、広場に参加する児童及び指導員は、単独の空調設備のある別の部屋に移動して活動を行なうといった不便な状況にございました。この不便を解消するため、地域活性化・経済危機対策臨時交付金を活用しまして、第七小学校の「ふっさっ子の広場」の部屋に単体の空調設備を設置しようとするものでございます。

続きまして、第2目文化財保護費の説明欄4、保護及び展示費の、第13節市史資料マイクロフィルムデジタルデータ化委託料でございます。これは福生市史編纂時に収集した文書や地図等の資料を、約2万コマのマイクロフィルムに撮影して保管してございますが、マイクロフィルム自体が劣化しやすいこと、又今後の長期の保存に耐えられない可能性があること、マイクロフィルムを映写する機器が老朽化し、修繕や買いかえに対応できなくなる可能性があること等の事情により、緊急雇用創出事業臨時特例補助金を活用しまして、資料所有者の了解を得ました上で、マイクロフィルムデータをデジタルデータ化に変換する作業を委託しようとするものでございます。これによりデータの長期保存及び資料の多様な活用を図ることができることとなります。

3点目としまして、第6節地域会館管理費の説明欄1、施設改良及び管理費の18節備品購入費でございますが、これは地域会館の会議

室等で使用する机、椅子で、老朽化したもの及び構造上指などをはさみやすくけがをしやすい机と椅子につきまして、地域活性化・経済危機対策臨時交付金を活用しまして買いかえようとするものでございます。内訳としましては、机は地域会館4館で152台、椅子は6館で576脚、椅子の運搬用台車が6館で22台、和机が2館で24台、片面黒板が1館で1台となっております。

以上で補正予算に関します社会教育課所管分の説明とさせていただきます。

図書館長 それでは、5項社会教育費、5目図書館費のうち、補正額180万4,000円、図書館資料整備事業につきまして御説明申し上げます。この事業概要といたしましては、所蔵しております図書の古いものにつきまして分類ラベル等の張りかえ、そして装備の新調作業、又昨年導入いたしました貸出確認装置、ブックディテクション装置でございますが、そのICタグの既存の図書に対する遡及添付、又古い、汚れた資料につきまして、清掃及び補修、福生市に関する新聞記事索引のデジタル化などによりまして、資料を整理して利用を活性化させるものでございます。この財源につきましては緊急雇用創出事業特例交付金でございます。

それではこの説明欄、図書館運営費7、資料整備等臨時職員賃金でございますが、本年度の11月から来年3月までの5箇月間、一人5,740円を二人分110日としての計算で126万3,000円でございます。消耗品費につきましては分類ラベル及びキーパー等の購入、これは新規の分類ラベルとそれに貼り付けるキーパー、透明のフィルムですが、それが1万5,000円、ICタグ代が38万550円でございます。

次に14、貸出確認装置借上料、これはICタグをエンコードと申しましてタグと分類ラベルのバーコードを同一にし、読み込むときに利用するリーダーライターの借上料でございます。こちらが9万円でございます。又、備品購入費でございますが、これは先程のラベルを新たに添付するために、新しくタイプライターで分類番号を打ち、きれいに整理するものでございまして、これは5万5,000円を準備してございます。

分類ラベルの貼りかえ等につきましては一人当たり1日200冊を考

えてございます。又、新聞記事の索引のデジタル化でございますが、一人当たり1年分を1ヵ月として考えてございます。以上でございます。

スポーツ振興課長

続きまして、スポーツ振興課所管分の補正予算につきまして御説明申し上げます。ページは22ページでございます。第10款教育費、第6項保健体育費、第4目体育館費でございます。右にございます説明欄でございます。

中央体育館防犯カメラの設置工事でございます。現在体育館は盗難等が多く発生しております。出入り口が二つございまして、プール側、それから駐車場側、その体育館の出入りがかなり自由にできてしまう状況がございまして、無断で使用する実態もございます。その実態を踏まえましていろいろ工夫してまいりましたが、盗難にあわれた方からも強い要望をいただきましたので、今回この活性化交付金を活用させていただきまして防犯カメラを設置するといった状況になりました。内容ですが、1階2階を含めまして14台の防犯カメラを設置いたします。モニター、録画装置につきましては1台ずつ事務所に配置いたします。録画したテープですが、保存期間を14日間といたしました。保存期間につきましては、盗難にあわれ、後日1週間ほどたつてからスポーツ振興課に報告が上がってくるケースが多いので、そのことを考慮しまして14日間の保存にしております。防犯カメラにつきましては以上でございます。

続きまして、備品購入費、机・椅子外とございます。これは体育館の2階会議室の机と椅子の買いかえでございます。机につきましては30脚、椅子については90脚、それから運び用のラックでございますが、それが3台といった内容でございます。

続きまして、今日御配付しました議案第66号附属資料3にございます債務負担行為の補正の部分、福生野球場整備工事でございます。これにつきましては当初防衛補助の9条、調整交付金の補助金を活用して事業を実施する予定でした。防衛補助の9条につきましては単年度事業が基本でございまして、本福生野球場の整備工事につきましては平成21年度、22年度、それぞれ工事を発注して事業を行おうとしておりましたが、通年で工事を実施することが最良であることから、防

衛省と交渉を当初から繰り返しておりまして、防衛省から債務負担行為について、通年で工事を実施することが可能となった協議が整いましたので、これに伴う補正でございます。

工事の概要でございますが、主に行う工事だけ御説明させていただきたいと思っております。まず外野の部分が人工芝に変わります。こちらに今日サンプルをお持ちしましたが、それで厚さ8センチほどになりまして、ゴムチップの上に芝生が出てくることで、従来的人工芝よりも毛足が長い構造になっております。このままでもスパイクで使える構造になります。内野の部分は現状どおり土のままでありまして、若干の土の入れかえを行う予定でございます。

次に外周フェンスでございますが、今1m50cmの高さになっておりまして、ぶつかっても安全なクッション材が5センチの厚みになっております。これが1m50cmですとジャンプしてぶつかり頸椎の部分が折れる危険がありますので、高さを1m95cmの高さまで持ち上げまして、クッション材も8cmの厚みにして安全確保のグレードアップを図りたいと思っております。

続きまして照明灯でございます。今現在4基設置しておりまして、当初2基の更新だけを考えていたのですが、老朽化と破損の箇所が明確になりましたので、4基とも交換をするものでございます。その他はスコアボード等の交換、多種目によるマーキングの設置等でございます。

バリアフリーの対応でございますが、牛浜駅側から入って来られるのですが、そちらに障害者の対応ブースを設けて、スロープで上げ、プレーを見ていただけるスペースをつくる予定だったのですが、高さが6mほどの高低差がありまして、スロープでは最後まで行ききれない状況がありました。管理棟がある段のところに若干スペースを広げるとともに駐車場を設置し、バックネットの真裏の部分のところに障害者用トイレを設置しまして、擁壁を設け、スペースを広く整備をし、観覧席、車椅子で入れるスペースを設ける構造で、バリアフリーの対応をとらせていただく設計とさせていただきました。

若干当初の予算より8,000万ほど予算が増えてしまったのですが、債務負担行為に伴いまして補正を行ないまして、来年度2箇年で工事

を発注する予定でございます。

最後に、今、野球場のボール飛び出す状況がございます。防球ネットの高さですが、最終的にレフト側ライト側の一番高い部分で25mを予定しております。これで軟式野球の、おおむね今まで出ていた実績は抑えられると考えております。

又、ネットが高くなることによりまして、電波障害の課題がございます。これについては引き続き現状調査をしまして、2箇年にわたって対応していく予定でございます。福生野球場につきましては以上でございます。

スポーツ振興課の所管分については以上でございます。

委員長 内容説明は終わりました。質疑がありましたらお願いいたします。

大変緻密な計画を練ってくださっているようですが、私から一つ、「ふっさっ子の広場」第七小学校の件ですが、「ふっさっ子の広場」のスペースはそこで恒久的にやれる見込みがあるのですか。各学校とも必ずしも今の場所がすばらしいとは思いません。もう少しきちんと学校の中での配置を検討すべきではと思ったのですが。

社会教育課長 第七小学校につきましては御提供いただいている部屋に、すでに電話やインターネットの回線、配線をしてございまして、そこを恒久的な場所として位置づけさせていただいております。

委員長 そういうことであれば、このままぜひ進めてください。

加藤委員 図書館について、11月から3月にかけて期間限定で臨時に2名職員をとのことですが、この2名はどういった意味で募集したのですか。

図書館長 作業内容でございますが、まずは貸出確認装置、これはブックディテクションといった言葉を使っておりますが、その貸出確認装置のためにはICタグを新たに図書に添付する必要があります。このICタグの消耗品及びその作業で大きく緊急雇用の交付金を利用させていただくことをさせていただきました。それと同時に分類ラベルも古いラベルで、分館分等も含めまして、日に焼けるなどし、見えなくなっているものも相当ございますので、そういったものをきれいに張りかえる作業、あるいは絵本等で汚れているものをきれいに拭く作業、又福生市に関しての新聞記事をつくっておりますが、いずれは公開できるよう索引のデジタル化を行なっております。これ以外にも本の

さまざまな装備等につきましての作業を、緊急雇用で採用した方たちにいろいろな形で関わってもらおうと思っております。以上でございます。

委員長 　　どこもそうですけど、正規職員を削減してきていますからでしょうかね。

教育長 　　補足させていただきます。お手元の議案第 66 号の附属資料 1 を御覧いただきたいと思っております。これにつきましては国の平成 21 年度補正予算で、雇用対策等々約 14 兆円の補正を組んでいるところであります。これに対して平成 21 年から 23 年度にわたりまして、それぞれ地方に対してその交付あるいは補助等をしていこうとなっております。

一番左端のところに「区分 1」がありますが、これが、国が補正を組むに当たってテーマとして掲げたその区分であります。「雇用対策」それから「低炭素革命」、次のページへいきますと「健康長寿・子育て」それからそのほかに「底力発揮・21 世紀型インフラ整備」そして「地方公共団体への配慮」といった、大きなテーマでメニュー化をしたことでございます。

これらを、例えば雇用対策については更に内容の仕分けをいたしておりまして、「区分 2」あるいは「事業」のところを見ていただきますと、例えば国としては「雇用創出対策」ですが、具体的な事業としては「緊急雇用創出事業」といった名称にして予算付けをしていることになっております。これらについては各都道府県に対しまして交付をするわけではありますが、年度が平成 22 年度、平成 23 年度にわたっていく事業でありますので、都道府県の取扱としては、一部については基金で持っていて、平成 22 年度、平成 23 年度に更に市町村のところに配分をしていく形になっているところであります。

今問題になりますその「緊急雇用創出事業」であります。これは事業ごとにいろいろな条件がついているのですが、基本として、目下失業中で働く意欲があるが働ける場所がない人たちに対して、雇用の機会を与えることで地方として努力をなささいといった事業であります。従いまして基本は今失業中の人を対象に何かできる事業を、しかも従来自治体が継続的にやっていた事業ではなくて、新規に事業を見出して事業化をなささいといった話になっております。そういった

条件でありますので、説明を聞いて、随分幼稚な話だなといった感じのところもおありかと思いますが、そういった条件の下に急遽、この一定の期間だけでこの補正予算を使っていくといった話でありますので、そういう意味でお含み置きいただいて御理解いただければとのことでございます。

渡辺委員 財源は緊急雇用としてわかったのですが、ここに挙げられたものは必要だからここに上程されたわけで、例えばその緊急雇用以外の財源があるのであれば今後も上程されてくると理解してよろしいでしょうか。

教育長 今申し上げましたように23年度までの3年度事業として14兆円を組んでおります。平成22年度、平成23年度、平成21年度も一部ですが、それぞれにわたる部分について都道府県は基金として一旦金を持っていて、要するに貯金ですね。それを平成22年度になったらこれだけ配分しましょう、平成23年度になったらこれだけ配分しましょうと改めて市町村に連絡をしてくる形になっています。

とりあえずは今の補正予算の制度でいけば平成22年度、平成23年度も事業として、附属資料1、実施事業及び事業費のところを見ていただきますと、平成21年度で、6事業とありまして、既に6月に補正をさせていただいた部分が一つ教育委員会関係であります。そのほかに今回9月補正が、申告会場等整理案内業務等々が出てきまして、そのあとに今度は平成22年度事業が5事業ございます。このように続けられるものと、新たに平成22年度とか平成23年度になって事業として追加をしていくものが出てくるといったことであります。

もう一つ確定的でないところがございまして、これは目下の政府予算として補正予算が組まれています。8月30日の選挙以降の新しい政権の場合には、報道されているところでは補正予算の凍結もある、予算は組んであるけれども、執行について凍結もある、こういった報道でありますので、平成22年度、23年度事業が継続できるかどうかについては明らかではありません。若干不安定な状況ではあります。

渡辺委員 レベルアップ、新規、それぞれ必要なことなのでしょう。これらは何らかの財源をもとにやらざるを得ない事業なわけですね。

教育長 御指摘のとおりなのですが、今私どもが通常に税等々の歳入をもつ

て賄っていくにはなかなか厳しい事業で、たまたまこういった形で補助金等々もらえるならばできる話だなど、あるいは逆に国は、例えば理科支援については、この時しか金を出しませんからこれを何としても使ってくださいといったものもあります。ですので、事業としては今本当にこれはやらなければいけなかった事業かどうかと言われてますと、必要性はありましたけど、しかし緊急度はどうかと言われてますと若干課題になる事業もあります。ただ、雇用創出からすれば、それに対する事業としてはこういった事業もやむを得ない事業であろうと思います。

委員 長 学校全体の話ですけれども、校内LANがなかなか認められないようですね、学校現場でどこまで情報教育がうまくいっているのかも関係しますが、いずれこのLANについてはかなり早急に整備すべきものなのではないでしょうか。

教 育 長 事業量が一気に膨らんでおりまして、実際問題として学校の現場に、直ちにこれだけの事業を貼り付けるのは難しいことですので、年次を追って予定はしております。通常予算の中で、私どもはできるだけと見込んでおりますので、今回は一旦提案しましたが、福生市にその14兆円の枠の中で全体をとらえてみますと限りがあります。通常に行えるものはその年次をずらしてでも、そのデジタル化の年次にきちんと合わせるよう事業を進めます。

委員 長 情報関係は、現在の省庁は大変進めていますから、予算要求をするとプラスでも来る可能性がないわけではないことでもあるのではないかと。

他に質疑はございませんか。ないようでしたら質疑を終わります。
お諮りいたします。議案第66号は原案のとおり同意することに御異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

委員 長 御異議なしと認めます。議案第66号は原案のとおり同意することといたします。

次に、日程第6、議案第67号、「福生第一国民学校防空日誌」の市登録有形文化財登録に伴う諮問についてを議題といたします。社会教育課長より内容説明をお願いいたします。

社会教育課長 それでは議案第 67 号、「福生第一国民学校防空日誌」の市登録有形文化財登録に伴う諮問について、その提案理由並びに内容について説明申し上げます。

まず提案理由でございますが、福生市文化財保護条例第 39 条に基づき、「福生第一国民学校防空日誌」を福生市文化財登録台帳に登録することを、福生市文化財保護審議会に諮問したいので、本案を提出するものでございます。

なお、現物については、説明させていただきながら御参照いただければと思います。

続きまして、議案第 67 号附属資料の調書を御参照ください。本日誌は昭和 19 年 11 月 1 日から、昭和 20 年 8 月 15 日の終戦に至るまでの 289 日間、現在の福生市立福生第一小学校である福生第一国民学校校長であった濱中雄一が、空襲、警戒警報発令時における学校施設の状況や、職員対応について克明に記録したものでございまして、記載欄は上から「回」「天候」「警報」、これは警戒警報、空襲警報の発令時刻及び解除時刻が記載されます。又、「御真影奉護状況」「校舎施設人員其他状況」「参集職員」と分類され、昭和 20 年 4 月 28 日から記載されている 2 冊目からは「一般状況」の項目が追加されております。

本日誌には、戦時下の学校での生徒への対応や、職員の体制、上空を飛来する米軍機の状況や、爆撃による近隣地域の被害状況などが詳細に記録されており、そのことから太平洋戦争時における福生、又学校教育現場の戦時下の状況を伺い知ることができる大変貴重な資料でございます。

又、本資料の活用としましては、広報誌やホームページでの周知、郷土資料室及び市庁舎内の情報コーナーの展示のほか、校長会等を通じ、学校における教材としての活用について情報提供をさせていただき、多様な活用を図りたいと考えております。そこで「福生第一国民学校防空日誌」を福生市登録文化財台帳に登録することにつきまして、文化財保護審議会に御審議を賜りたいと考えております。よろしくお願いいいたします。

委 員 長 内容説明は終わりました。質疑がありましたらお願いいいたします。

平野委員　もう戦後 60 数年たっていますけれども、そこで今この資料が発見された経緯はどのようなことですか。それと、前回も第一小学校で明治時代の、校長先生が子どもたちに郷土を教えることで、そのような教科書をおつくりになりましたけれども、今後もまだそのような資料がたくさん残っているのでしょうか。

委員長　追加で、この日誌は、当時国民学校としては校長が、どこの学校でもつけていたものなのですか。今の 3 点について答えられる範囲でお答えいただけますか。

社会教育課長　本日誌の、取得した経過でございますが、昭和 60 年に市民の方より寄贈を受けたものでございます。その市民の方は古書店で購入されたとのことで、学校から古書店へ渡った経過ははっきりいたしてございません。他の資料及び他の学校での記載状況は文化財係長の方から御説明させていただきます。

委員長　ではお願いいたします。

文化財係長　それでは、他の学校の防空日誌の件ですけれども、現在のところ福生市以外には防空日誌があるとは確認されておりません。しかし学校日誌はどの学校でもつけておりまして、その中で防空関係の事項が書いている場合はございます。

加藤委員　学校に残っていたのではなくて、市民の手にあったことが非常に驚きですね。その経緯を詳しくお願いします。

委員長　社会教育課長、お願いします。

社会教育課長　昭和 60 年当時、郷土史を研究されている市民の方が古書店で発見され、購入された後、貴重な資料なため、市に寄贈をされたといった経過でございます。

委員長　本はごみとして出すと燃やしてくれるけれども、廃棄物として縛って出すと、中にはピックアップしてくれて、それが古本屋に回るケースもあるようですね。これで調査してもらおうと本物かどうかがわかるのですね。郷土史などを研究している人にとって貴重な資料であることは予測されますね。

平野委員　先程昭和 60 年に市民の方から寄贈と、戦後 20 数年かかっているわけですけれども、まだ福生にはそのような価値があると思われる資料はあるのでしょうか。

文化財係長 現在、学校関連の調査をしております、特に第一小学校の資料を
目録分類しているところです。今後発見されるかもしれませんが、ま
だはっきりとはしていない状態です。

委員 長 旧家の蔵などを公開するといろいろ出てくるのはもう常識的な話で
すし、学校なども精査して整理するといろいろ出てきたりするかもし
れませんか。

他に質疑はございませんか。

ないようでしたら、質疑を終わります。

お諮りいたします。議案第 67 号は原案のとおり諮問することに御異
議ございませんでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

委員 長 御異議なしと認めます。よって議案第 67 号は原案のとおり諮問する
ことにいたします。

次に日程第 7、報告第 13 号、福生第四小学校西側階段室アスベスト
除去工事の完了についてを議題といたします。庶務課長より内容説明
をお願いいたします。

庶務課長 それでは報告第 13 号、福生第四小学校西側階段室アスベスト除去工
事の完了について御報告を申し上げます。

福生第四小学校西側階段室のアスベスト除去工事につきましては、
5 月 25 日の臨時教育委員会、7 月 24 日の教育委員会定例会におきま
して御説明・御報告を申し上げておりましたが、夏休みに入りまして
西側校舎を閉鎖の上工事を行いました。7 月 22 日に工事着手いたし
まして、8 月 6 日に完了しております。アスベスト除去作業後に、階
段室内外におきまして粉塵測定を行ないましたが、いずれもアスベ
スト不検出との結果となっております。御心配をおかけしましたが、工
事が無事完了いたしましたので御報告をさせていただきます。

委員 長 内容説明は終わりました。質疑がありましたらお願いいたします。
ないようでしたら、質疑を終わります。

お諮りいたします。報告第 13 号は原案のとおり承認することに御異
議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

御異議なしと認めます。よって報告第 13 号は原案のとおり承認する

ことにいたします。

次に、日程第8、報告第14号、平成21年度算数検定「児童数検」及び漢字検定の実施計画についてを議題といたします。指導主事より内容説明をお願いいたします。

主 幹 それでは報告第14号、平成21年度算数検定「児童数検」及び漢字検定の実施計画について御報告いたします。

本事業は児童・生徒の学力向上及び学習意欲の喚起を目的といたしまして始められました。更に昨年度から受験級についての各学校での指導も行っておりまして、当該学年における児童・生徒の学力の把握といった意味合いでも実施をされております。

今年度につきまして実施期日は、漢字検定につきましては10月30日、あるいは1月29日のいずれかです。算数検定につきましては10月より2月までの間に各学校設定をすることになっておりまして、対象はこれまでと同様小学校4年生全児童、中学校1年生全生徒となっております。

なお、今後の実施の継続につきましてはただ今

検討いたしているところでございまして、特に小学校における学力向上を図るための調査の結果でございまして、このたびの漢字能力検定協会の不明瞭な会計処理と、検討が必要な事柄の要素も少なくないことから、今年度の本事業の終了も視野に入れつつ検討してまいりたいと考えております。以上御報告といたします。

委 員 長 内容説明は終わりました。質疑がありましたらお願いいたします。

確かに漢字検定だけは、慎重に状況を見極めながら進めてください。

参 事 やめたいところですが、予算計上されており、事業として議会も通っています。

委 員 長 わかりました。

他に質疑はございませんか。

ないようでしたら、質疑を終わります。

お諮りいたします。報告第14号は原案のとおり承認することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

委 員 長 御異議なしと認めます。よって報告第14号は原案のとおり承認する

ことといたします。

それでは、日程第9、その他報告事項について説明願います。

平成21年度福生市青少年海外派遣事業報告について、社会教育課長
お願いたします。

社会教育課長 それでは平成21年度福生市青少年海外派遣事業について報告をいた
たします。今年度の海外派遣事業におけます海外派遣研修につきましては、7月21日から8月3日の間、中学生12名をアメリカ合衆国ワ
シントン州シアトル市に派遣し、12泊のホームステイを含む14日間の
日程で実施いたしました。予定しておりました全過程を終了し、今
回は新型インフルエンザの感染が心配される中での派遣でしたが、派
遣生全員健康な状態で帰国することができました。

それでは資料に基づきまして研修結果を報告いたします。今回は7
月21日のシアトル到着日からホームステイに入り、派遣生は滞在し
た12日間すべてをホームステイにより過ごしました。英語しか通じ
ない環境の中で相手の言葉を理解し、自分の気持ちを伝えなければな
らない生活に、当初不安を訴えていた派遣生でございましたが、3日
目頃よりアメリカの家庭の生活スタイルを理解し、慣れるに従い不安
や不満の声も少なくなり、又愛情あふれるホストファミリーの対応に、
意思の疎通も図れるようになり、生活に溶け込んでいく姿が見られま
した。

語学研修につきましては、2日目の7月22日からノースシアトルコ
ミュニティカレッジ、略称はNSCCでございます。ここのカリキュ
ラムにより7回行われました。授業はすべて英語で行われ、教室で行
う授業のほか、見学に訪れた博物館・水族館では、事前に出された課
題につきまして館内の展示物や解説を見ながら解答するエクササイ
ズ。又、フェリーに乗船し、乗客に対しあらかじめ出された質問を訪
ねるコンタクトエクササイズなど、多様な方法が取り入れられ、派遣
生も興味を持って積極的に取り組む姿が見られました。又、講師より
授業を受ける態度、積極性、理解力、会話力の成長など高い評価をい
ただき、全員語学研修の終了証を受けることができました。

アメリカの歴史及び文化の体験では、シアトル市内のダウンタウン
におきまして日系移民が開いたパイクプレイスマーケット、これは市

場でございますが、この見学とか、スターバックス1号店の見学、シアトルセンターではスペースニードルと言われる展望台よりシアトル市内の町並みの様子を見て、福生市との違いなどを観察いたしました。3日目のワシントン大学キャンパスツアーでは校内の見学と、大学内のバーク博物館でインディアン文化や恐竜の歴史などを学習いたしました。5日目には路線バスを乗り継ぎシアトルマリナーズの野球観戦を行い、野球に対する人気の高さを実感することができました。8日目にはボーイング社のエベレット組立工場において、広大な敷地と世界最大の容積とされる組立工場内での飛行機の組立ラインの見学を行ないました。

又、自然体験としましては、9日目に1日かけて国立公園であるマウントレニアに行き、氷河を目の当たりにして自然の雄大さを観察し、アメリカの自然保護への取組の様子を学ぶことができました。

現地の方との交流では、4日目にグリーンレイクにおきましてシアトルYMCAスタッフによる地元の小・中学生との交流が行われ、英語による説明や指示、やり取りの中で、ゲームを楽しみながら親交を図ることができました。10日目には日系人が多く入所する介護付有料老人ホーム、日系マナーを訪問しまして、事前に練習した歌と踊りの披露と、入所者との懇談を行い、交流を深めております。研修の終わりに近い11日目にはホストファミリーを招待してさよならパーティーが開かれ、語学研修の終了証の授与、又様々なお世話になった方への御礼、歌と踊りの披露を行い、研修の全日程を終了することができました。

14日間の研修中、11日目に女子1名に嘔吐の症状があり、体調を崩して医療機関で受診をいたしました。すぐに回復し、12名全員予定していたすべての日程を終了することができました。

帰国後13日に保護者・関係者にお集まりいただき、帰国報告会を行い、派遣生は英語と日本語による報告。又、市からは研修の概要を報告させていただいております。以上でございます。

委員長 引き続き、平成21年度子どもスポーツ体験塾実施報告をお願いいたします。スポーツ振興課長より内容説明をお願いします。

スポーツ振興課長 それでは、平成21年度子どもスポーツ体験塾実施報告についてでご

ございます。日程につきましては平成 21 年 7 月 29 日から 31 日までの 2 泊 3 日で実施しております。実施場所は例年通り長野県の白馬村でございます。

日程ですが、まず 7 月 29 日は、朝から雨でございました。6 時に出発をいたしまして、まず初めにウォータージャンプデモでございました。これはスキーのフリージャンプの夏バージョンで、下がプールになっていまして、そのデモでございます。随行者の中でパフォーマンスをやろうと企画し、事前に準備をしていたのですが、到着に大変時間がかかってしまいまして中止といたしました。大変残念な思いをしております。

続きまして、午後からはリバーアドベンチャーといたしまして、ラフティングでございました。これは、2 週間ほど前から白馬はずっと雨が続けておりまして、川が増水しラフティングは実施できませんでした。かわりに青木湖に移動しまして、ボート遊び、湖で泳ぐといった内容に変更しております。湖は大変青く、深く、海とは違ってかなり恐く、参加者もいい経験ができたのかと思います。

次に、夜はバーベキューでございます。これも全員で準備をしまして、肉を刺したり野菜を切ったりといったところから、一緒になって実施しております。夜は星空観察を予定していたのですが、雨でしたので実施することができませんでした。講師の方に宿に来ていただきまして、ちょっとしたゲームを含めながら異年齢のお話だとか、それから集中力のお話などをいただきました。

30 日でございます。この日は晴れて、事業がすべて実施できました。パラグライダーでございます。これはインストラクターが下に付き、引っ張りまして飛ぶ体験ができる程度のものなのですが、全員かなりの飛行距離を確保できまして、いい経験ができたのかと思っております。

次にガラス玉工房とそれから農業体験、あと夕食の作成につきましては午後からローテーションを組み実施しています。ガラス玉につきましては、一人ずつバーナーを使っていました。大変人気でございまして、男の子の中にはお母さんには渡さないで自分で持って歩いている状況でございます。カレーライスを作って夕食をとったのですが、

やっと異年齢の人たちも仲良くなれたのがこの辺りでありまして、やっと和気あいあいとできるようになったと感じた時期でございます。

続いて31日でございます。最後はエクスポートアドベンチャーといひまして、地上約8メートルのアスレチックを実施しております。8メートルですので、身長の高さを入れますと約10メートルの高さになりますので、安全綱を付けての実施です。かなり怖い状況でして、今回チャレンジする前にリタイアした生徒が5人、それからチャレンジの途中でリタイアした生徒が4人で、過去2回やっておりますが、完走できた人数が一番少なかったと聞いております。

白馬のジャンプ台を見学し帰路につきまして、予定より1時間ほど遅れました。帰りはかなり大雨が降りまして、高速道路が込んでいたのが理由でございます。けが、病気等については、若干の車酔いがございますが、参加者皆元気で帰ってくることができました。昨年はホームシックで1名、途中リタイアしておりますが、今年は、ホームシックは常時いしましたが、帰るほどでは、なかったところでございます。

応募の状況です。募集人数は42名で実施しております。応募総数は105名でございます。倍率2.5倍でございます。同時に引率者を8名募集しております。最終的に出発前にけが等でキャンセルが出ました。これで実際の参加人数は40名になりました。内訳は記載のとおりでございます。

随行者ですが、最後に公募1名とございます。これは学芸大学の学生で、先生を目指している方です。海外派遣の経験もございまして、市の事業にも興味を持っていただいた方でございます。

本事業についてですが、実は大変微妙な状況でございます。東京都の予算をいただきまして、市長会から通じてこの事業をやっておりますが、その補助金の行方が定かではございません。それからこの事業の実施目標が「異年齢の体験」と、それから「指導者の育成」といった目標がございますが、スポーツの体験については十分事業の目的は達しているのですが、事業の進め方で異年齢との体験では、組み合わせや班を組んだり部屋を割るときに、どうしても同じ学年同士の組み

合わせになってしまいまして、異年齢の体験が不十分かといった反省がございませぬ。

又、指導者の育成につきましては十分事業の目的は達している状況ではございませぬ。

若干この事業についての幾つか課題が残っている状況でございませぬ。報告につきましては以上でございませぬ。

委員長 引き続き、熊川地域体育館におけるクライミングウォールの設置について。スポーツ振興課長より内容説明をお願いいたします。

スポーツ振興課長 それでは、熊川体育館におけるクライミングウォールの設置についてでございませぬ。

まず設置箇所は福生市熊川地域体育館 2 階の第 2 体育室に設置をいたします。設置者は指定管理者でありますシンコースポーツ・山武共同事業体でございませぬ、設置予定は 9 月 14 日、運用開始は 9 月 15 日を予定しております。施工業者である指定管理者にかかる費用が約 650 万円でございます。

イメージ図でございませぬが、5 枚並べ、横に約 9m ございませぬ。クライミングですので引っ掛けて登っていくもので、高さが 2.5m の構造になります。下にはクッションが置いてありまして、転落することを想定した構造になっております。厚みが 15cm ほどございませぬ、2.5m の高さから落ちても衝撃はさほどなく、大きなけがにはつながらないことになっております。支えのところの部分で出っ張りの部分でございませぬが、これは実施時には別にカバーをかけて、そこに安全帯を設ける構造になります。

運用につきましては、時間帯を設けて、個人利用の形で使います。初めに指導をいたしまして、2 回目からは自由になります。常時指導員がついて監視をしつつ使用する形になります。3 歳以上からの利用としますが、未就学児については、高校生以上の保護者を同伴することといたします。

利用範囲ですが、2 階の配置図が書いてあります。卓球台等がございませぬが、防球をしましてクライミングウォールを設置する構造になります。料金については個人利用を想定しております。注意事項の看板なども掲示をし、安全には考慮するものでございませぬ。

当初から指定管理をするときの事業計画として、このクライミングウォールの設置は提案をされていた事業で、ここで準備が整ったことですので、教育委員会に御報告を申し上げます。以上でございます。

委員長 以上の三つの報告について、質疑はございませんか。

平野委員 まず子どもスポーツ体験なのですけど、直前に2名のキャンセル者が出たとのことですが、倍率が2.5倍で、行けなかったお子さんが多いわけですね。補欠の方を加える時間的な余裕がなかったのですか。それとも最初から補欠はしないことだったのですか、それが1点です。

もう1点は、熊川体育館のクライミングウォールについて、事前に計画されていたものと伺いましたけれども、拝島駅の北口、日光橋公園に似たものがありますね。武蔵野台ではなくわざわざ似たものが近くにある熊川体育館に設置とはどういうことですか。以上の2点をお伺いしたいと思います。

委員長 スポーツ振興課長お願いいたします。

スポーツ振興課長 まず子どもスポーツ体験塾の2名のキャンセルについての対応でございますが、この2名以前にもキャンセルがございまして、時間的に余裕があるものについては、補欠の補充といった対応をしております。しかしこの2名につきましては出発間際に出てきたものですので、時間的余裕がないことなどから補欠の補充はいたしませんでした。

クライミングウォールにつきまして、福生体育館は特徴がございまして、トレーニングルームの個人利用が大変人気でございます。しかし熊川体育館については個人利用が比較的人気がない、そのため指定管理者が集客を見込んでクライミングウォールを持ってきたこととございました。

日光橋公園のものについてはかなり前から付いておりまして、利用者はほとんど大人の方が使っている状況です。おそらく指定管理者は日光橋公園の状況を知らずに、他の体育館ではこの事業を行うと人が多く入ってくる実績をもって、熊川体育館にこの事業を設けたのではないかと考えます。公園との関係は、市としては指導をしておりませんので、そういう状況で配置があったのかと推測するものでございます。

委員長 ほかには質疑はございませんか。

加藤委員 子どもスポーツ体験塾についてですが、内容を見ますと農業体験やガラス細工体験といった内容になっていますけれど、体育系の指導員なので、農業体験させるならやはり指導員をもう少し選択されたらよかったですのではないかと思います。

スポーツ振興課長 私どもの指導員と別に、白馬村観光協会から各事業にインストラクターを付けていただきました。

加藤委員 何人ほどですか。

スポーツ振興課長 それぞれ事業の規模に応じて人数を分けています。パラグライダーにつきましては、4機ほど飛ばしまして、インストラクターが2名ずつ配置をしていただきました。それから農業体験につきましては1名、農業をしている状況や、虫の状況なども説明していただきながら行いました。

委員長 こういった質問が出るのは、もともと目的がスポーツ体験からきているわけですね、にもかかわらず同じような重みでもってガラス細工や農業体験が入ってくるからで、書き方の問題もありますね。

はっきり、子どもスポーツ体験塾は、あくまでもスポーツ振興のためであり、それだけでは飽きてしまうから、自然に親しむ機会もつくったのだと、段を分けないとイケませんね。加藤委員から指導者について質問が出てくるのも当然ではないのかな。加藤委員、よろしいですか。

加藤委員 はい、わかりました。まだいろいろ考える部分があるとおっしゃっていたので、もう少し綿密に計画を立てて行かれたらよかったですのではないかと思います。

委員長 他にその他報告はありませんか。

委員のみなさんからは何かありませんか。

平野委員 私は図書館のボランティアもやっています、結構伺うことが多いのですが、今夏休みで親子連れが結構来ています、幼稚園児の親子だったので、お母さんが本を読んでいるときにお子さんがトイレに行きたいと、お母さんを引っ張っていました。私があそこに幼児用トイレがあるから行ったらどう、と聞いたら、あそこが和式トイレなので使えないと、それで外に出て普通の大人用のトイレを利

用するのだけでも、洋式トイレが一つしかないので、やはりそこを他の方が使っていらっしゃったら使えない。それで身障者用のトイレを使いたいのでお母さんを呼びに来たとのことでした。

私も見てみましたら、やはり小さい和式のトイレがあるんですね。今小学校も洋式トイレ化が進んできていますし、うちの娘たちも生まれたときからずっと洋式トイレできております。もちろん和式トイレでもできなければいけないと思いますが、トイレを設置してあっても、利用ができない方がいるとはどうなのかなと思いました。子どものトイレの利用状況等、見ていただいて、今後考えていただければ思いました。

図 書 館 長 　　実は今年の特別整理期間が9月の下旬から10月にございまして、その期間に改修することが決まっております。予算も認められてございまして、新しく洋式トイレに替える予定でございます。

平 野 委 員 　　わかりました。お願いいたします。

委 員 長 　　他にございませんか。

それではないようですので、その他報告事項の説明を終わります。

以上で本日の日程はすべて終了いたしました。これをもちまして平成21年第8回福生市教育委員会定例会を終了いたします。

ありがとうございました。

午前11時42分 閉会